

U区 シートによる養生の様子



現地説明会開催後も小牧山では寒さに負けず、作業が続いています。歴史館南斜面の調査区（U区）では2月中旬までに全ての調査、記録作業が完了し、埋戻し作業に入りました。埋戻しに先立ち、確認したお城の面（遺構面）や検出した石垣などを土のうと養生シートで保護しました。

これは、将来計画されている史跡整備工事で再度この箇

小牧山城

はつづがわら版

南湖調査区（U区）埋戻し養生中

所を掘削する際に誤って城郭の遺構や石垣を傷めないよう、また雨水などの影響を最小限に抑えるために行うものです。

お城の遺構や石垣は露出することにより、風雨などの影響で劣化が進んでしまいます。それを防ぐには土で覆うこと、つまり埋戻すことが最善の方法なのです。

せっかく掘ったのにもったいないようにも思えますが、貴重な石垣、信長の城郭を将来にわたって「守り」、「伝えて」いくための重要な保護処置であることをご理解いただければと思います。



土のうによる石垣保護状況
（写真は第7次発掘調査）

平成27年度 第13号

発行日：20160302

発行：小牧市教育委員会
小牧山課

問合せ：0568-76-1623

発掘ひとくちメモ

～小牧山 椿デコレーション～

発掘調査で朝晩小牧山の登山道を上り下りしていると、毎年この季節に目にする光景があります。

小牧山で咲いている椿の花で落ちてしまったものが、園路沿いのチェーンの支柱に一つずつ丁寧に置かれています。

風などで落ちて翌日にはまた置かれていますので、小牧山を日常的に散歩されている方のお心遣いなのではないでしょうか。ともすると殺風景な冬の山中に華やかさが加わります。



安全のため調査区内には立ち入らないでください

小牧市教育委員会